

## インダストリアル・グローバルユニオン エネルギー産業世界会議

2018年7月25～26日、ロシア・サンクトペテルブルク

### 「エネルギー産業で組合の力を強化」

#### アクション・プラン

##### 序文

政治的・経済的・社会的課題が世界中の労働組合に影響を与えている。多くの国々で民主主義自体が脅威にさらされている。民主主義が弱体化すると、労働者の権利、特に結社の自由と団体交渉権、スト権が真っ先に標的にされる。

インダストリアル・グローバルユニオンのエネルギー部会は、このグローバルな闘いの一環として、この厳しい時期にこれまで以上に労働者の権利と民主主義を求めて声を上げ、断固とした態度を取る。組合の力と国際連帯を強化し、労働者とその家族のために民主主義と平和、労働権、望ましい条件を確保できるようにする必要がある。

インダストリアル・グローバルユニオンは、このアクション・プランを通して、持続可能かつ社会的で安全なエネルギーが、社会福祉を促進する国家・世界レベルの産業政策の礎石として、社会で中心的役割を果たすよう確保することを目指している。

インダストリアル・グローバルユニオンは、エネルギー集約型の製造業で働く産業労働者だけでなく、あらゆる形態のエネルギー抽出・生産・伝送・配給に従事する労働者をも代表している。この独自の事情から、インダストリアル・グローバルユニオンには、気候変動に取り組むための国家エネルギー政策・構造の急激な変化に労働者が直面する中で、労働者の利益を十分考慮する進歩的なエネルギー政策を立案し、エネルギー労働者に必要な技能・資格を大きく変化させる新技術に適応する能力があり、その義務がある。

第1回大会の政治決議に基づいて、インダストリアル・グローバルユニオンは、国内の天然資源、利用可能な技術、供給の安全保障および国内事情に基づき、各国が全体的なエネルギー構成に関して異なる決定を下すことを認識している。

この討議におけるインダストリアル・グローバルユニオンの中核原則は、公正な移行を保証しなければならないということ、すなわち、よりクリーンで持続可能な経済への移行は、労働者とその家族、彼らに依存する地域社会にとって経済的・社会的に正当かつ公正でなければならないということである。

インダストリアル・グローバルユニオンは、公正な移行の必要性を予期しており、労働者とその家族、地域社会の権利と生活水準を保護し、質の高い持続可能な産業関連雇用を提供するために具体的な対応を要求する。さらに、インダストリアルは企業・政府に対し、適切な公正移行基金を設立し、関連労働組合組織の代表が共同で管理して持続可能な産業雇用の保護・創出に利用するとともに、強力な社会的保護プログラムを補足するために、影響を

受ける労働者向けに包括的・創造的な労働調整プログラムを導入し、今日の生産能力を保護して明日の生産能力を確立することを約束するよう要求する。

インダストリアルオールは引き続き、関連各国が民主的議論によってバランスの取れたエネルギー構成を開発するよう支援し、国によってエネルギー構成が大きく異なる事実を受け入れる。

インダストリアルオール・グローバルユニオンの意見によれば、エネルギーは必需品かつ公共財であり、公的機関は、特に環境ニーズや破壊的な新技術が推進する急激な変化を受けて、エネルギーの抽出、生産、伝送および配給にあたり、一般の人々のために公共政策に基づきエネルギーの生産と利用を管理しなければならない。

インダストリアルオール・グローバルユニオンは、エネルギー市場のさらなる自由化と規制緩和に抵抗する世界中の加盟組織を引き続き全面的に支持する。

インダストリアルオール・グローバルユニオンの考えによれば、エネルギー政策は、特にエネルギー貧困の影響を受ける世帯の増加を踏まえて、社会的一体性と平等な待遇、環境保護、手ごろなコストのアクセス改善を支援する法律上および規制上の枠組みを通して公益に資するべきである。

加えてインダストリアルオール・グローバルユニオンは、エネルギー政策とともに、産業バリューチェーンを維持、創出あるいは再構築し、エネルギー労働者のために生涯学習などの機会を生み出す産業政策を導入すべきことも明確に理解している。

## アクション・プラン

世界各大陸の約 50 カ国の加盟全国組合およそ 70 団体から 200 人を超える代議員を集めて、2018 年 7 月 25～26 日にロシアのサンクトペテルブルクで会合を開き、

現在および将来の傾向と課題について議論・討議し、安全衛生、不安定雇用、公正な移行、インダストリー4.0、ネットワーク構築、組織化、戦略の調整といった労働問題を調べ、

すべての組合が共通の使用者、特に多国籍企業に対抗する共通の闘争・行動に直面しており、すべての場所で労働組合の力とエネルギー労働者の団結した声を強化するために連帯して共闘していることを認識し、

2016年のリオデジャネイロ大会で支持されたインダストリアルオール・グローバルユニオンの5つの戦略目標・目的を考慮して、

エネルギー産業世界会議は、この産業の課題に取り組むためのアクション・プランとして以下の項目を採択する。

### **1. 労働者の権利の擁護：**

*基本的権利を求める闘い：*

- エネルギー労働者が圧制的な政府との闘いの最前線に立っているという事実を踏まえて、インダストリアルオール・グローバルユニオンは、加盟組織による重点的行動に

において、効果的なキャンペーンにより、関連組織や他のキャンペーンと戦略的に提携しながら、世界的な力を行使する。

- インダストリアルは、世界中の組合を動員するグローバル・キャンペーンの展開によって、労働権侵害に対応する組合の能力を強化するとともに、国内・地域・国際連帯のネットワークを構築する。
- インダストリアルは、エネルギー部門で引き続き取り組みを進め、労働者の結社の自由に対する権利、団体交渉権およびスト権の承認、安全で健康的な職場、あらゆる形態の職場内差別の根絶を目指す。

#### 女性：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、女性問題は労働組合の基本的な優先課題であると考えている。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、すべてのエネルギー部門で女性労働者の権利を保護・擁護するために行動を起こす。
- 部門の活動や会合で女性参画を改善するとともに、女性が直面している特定の問題を引き続き調べて優先順位を決めるために活動を実施する。
- インダストリアルは、エネルギー産業のすべての活動で女性参画40%の目標を尊重するために必要なあらゆる努力を払う。書記局と加盟組織も、エネルギー関連行事でバランスの取れた講演者の構成を確保するために同様に努力する。
- 本世界会議は、先ごろ受け入れられたインダストリオールの誓約「職場と組合で女性に対する暴力や嫌がらせを根絶」を評価・支持しており、この誓約を受け入れて実施するよう加盟組織に強く勧める。
- この部門のどこで女性が働いているかを調査することによって部門レベルで女性問題を確認するとともに、部門別・ネットワーク別のアクション・プランに女性を統合し、部門別活動と企業別ネットワークへの女性参画を促進する戦略を採択するために努力を払う。
- インダストリアルは、男女の賃金格差を縮小するために加盟組合を支援し、職場における女性の地位向上を奨励してワーク・ライフ・バランスも促進するために積極的な行動を強化する。

#### 安全衛生：

- エネルギー産業世界会議は、労働安全衛生がこの部門の主要な優先課題であることを認識している。
- この部門は、すべての場所で労働者の安全衛生に関する認識と開放性を高めるよう業界に要求すべく取り組む。
- 安全衛生に関して一連の行動を起こし、この主題に関する主要な行事を組織する機会を探る。
- インダストリアルは、エネルギー労働者のために安全で健康的な労働条件を達成し、GFAで強力かつ包括的な安全衛生規定を追求するために引き続き努力する。
- エネルギー産業の使用者は、フルタイムの直接雇用従業員、サプライヤー、請負業者、下請業者、学生、トラック運転手、訪問者その他のいずれであるかにかかわらず、自社または子会社を代表して仕事を実施しているか、自社の現場に居合わせるすべての人の安全衛生の確保に全責任を負わなければならない。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、作業に伴う危険をすべて知り、安全に作業を遂行するための教育・訓練を受け、報復を恐れずに危険な作業を拒否また

は停止し、すべての安全衛生対策の立案と実施において完全なパートナーになる労働者の権利を尊重するよう引き続き主張する。

## 2. 組合の力の構築：

### 組合組織化：

- 組合員の組織化と保持は、エネルギー産業におけるすべてのインダストリアル・グローバルユニオン活動の最優先課題である。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、この部門の加盟組織による組合組織化活動への支援を引き続き重視する。
- 組織化と団体交渉プロセスを通してサプライチェーン/付加価値チェーン全体を私たちの取り組みに統合するために努力を払う。
- この部門のインダストリアル加盟組織は組織化キャンペーンにあたって互いに支援し合い、労働組合ネットワークは関連国の加盟組織と協力して組織化対象候補の非組合工場を確認し、確認された行動を実施する。
- インダストリアルは、グローバルな手段（GFA、組合ネットワーク）を利用して成長する意欲のある組合への支援・連帯によって、組織化が可能な環境を作るために最善の努力を払う。
- インダストリアルと加盟組織は、未組織労働者、不安定労働者、若者および女性の組織化を通して、組合員数の危機的な減少に取り組む。
- インダストリアルと加盟組織は、最優良事例に基づいて労働組合向けに教育・訓練を行い、知識や経験を交換し、組合間・地域間協力と地域を強化して合同訓練プログラムや活動を生み出す。
- 若年労働者を勧誘・代表する組合の能力は極めて重要であるため、インダストリアル・グローバルユニオンは、若年労働者の積極的な組合参加を促進し、エネルギー産業で若年労働者を組織化して彼らの特別な懸念に対応しようとする組合の取り組みを支援する。

### 団結とグローバルな連帯の強化：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、エネルギー産業で組合運動の分裂を克服して団結を確立するために引き続き取り組む。
- インダストリアルは、多国籍企業で加盟組織の組織化・勧誘努力を支援・強化することによって、国際レベルの連帯と協力を引き続き促進する
- インダストリアルとこの部門の加盟組織は、強力かつ持続可能で民主的・代表的な独立労働組合の発展を引き続き支援する。
- インダストリアルは、エネルギーを輸出入する国々の組合間で、またエネルギーの生産や配給に従事する労働者を代表する組合とエネルギー集約型作業・産業に従事する労働者を代表する組合との間で、連帯の構築を引き続き強調していく。
- 産業転換（持続可能なエネルギーへの移行やインダストリー4.0の影響など）によって、能力強化に特に注意してエネルギー・バリューチェーン全体で部門横断的な協力を行う必要性が生じる。
- インダストリアルは、引き続き他のグローバル・ユニオンと協力しながら、サプライチェーンにおける同盟を促進する。

#### 提言活動：

- インダストリアルは、引き続き他のグローバル・ユニオンやインダストリアル・ヨーロッパと協力しながら、グローバルなエネルギー政策の立案において政府間機関やマルチステークホルダー・イニシアティブに働きかけ、不平等の拡大を助長する政策を放棄させるとともに、すべての労働者のために安定した雇用、労働権および生活賃金を促進させることを目指す。
- 二国間・国際貿易協定はエネルギー産業の企業を取り巻く環境と労働者の労働条件に影響を与えるため、インダストリアルは、引き続き幅広い労働運動と協力しながら、貿易協定が公平と雇用の成長を促進し、労働者の基本的権利や環境基準、人権、民主主義を損なわないようにすることを要求していく。

### 3. グローバル資本への対抗：

#### キャンペーンおよび連帯行動：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、引き続きグローバル企業別キャンペーンに関与し、この部門を支配している多国籍企業で組合の力を強化する。
- この枠組みの中でエネルギー産業世界会議は、インダストリアル・グローバルユニオン、シェル組合ネットワークおよび加盟組織がシェルに対抗して実施中のキャンペーンへの全面的な支援を宣言する。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、企業による基本的権利の侵害への対抗における連帯に関する憲章に沿って、引き続きエネルギー部門の紛争を支援し、連帯を表明する。

#### 労働組合ネットワーク：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、労働組合の存在感と力を強化するために、多国籍企業とエネルギー産業のサブセクターにおいて世界・地域・全国レベルで、引き続き労働組合ネットワークを創出する。
- エネルギー産業世界会議は、サブセクターで下記の労働組合ネットワークの強化を支援することを確認する。
  - INWUN：国際原子力労組ネットワーク
  - ラテンアメリカ、アジア太平洋、中東・北部アフリカ（MENA）、カスピ海地域およびサハラ以南アフリカ（SAEN）の石油・ガス労組地域ネットワーク
  - ラテンアメリカ、アジア太平洋、中東・北部アフリカ（MENA）およびサハラ以南アフリカ（SAEN）の電力労組地域ネットワーク
- エネルギー産業世界会議は、シェル・グローバル組合ネットワークで行われた作業を高く評価し、加盟組織に対し、この部門で主導的役割を果たしている多国籍企業で同様の労働組合ネットワークを結成するよう促す。

#### グローバル枠組み協定（GFA）：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、そのガイドラインとチェック・リストに沿って、エネルギー部門でグローバル枠組み協定（GFA）を交渉、締結および実施するために活動を続ける。

- エネルギー産業世界会議は、インダストリアル・グローバルユニオンの目標を達成するための効果的な手段として、エネルギー部門でグローバル枠組み協定（GFA）の利用を促す。
- 特にGFAは、締約企業が活動しているすべての国々で、労働者による組織化や団体交渉の努力を支援しなければならない。企業が約束を守らなかった場合は、「企業による基本的権利の侵害への対抗における連帯に関するインダストリアル・グローバルユニオン憲章」で確認された行動を起こす。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、他の多国籍エネルギー企業とさらなるGFAを取り決める機会を求める。
- 発案・交渉・実施プロセスにおいて労働組合ネットワークとキャンペーン、グローバル枠組み協定（GFA）との密接なつながりを確立するために、誠実な努力を払う。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、GFAプロセスと国際的な社会的対話プロセスにおいて、姉妹グローバル・ユニオン、特にインダストリアル・ヨーロッパとの緊密な協力を維持・構築する。

#### 4. 不安定雇用との闘い：

- エネルギー産業世界会議は、世界中であらゆる形態の不安定雇用と闘うとともに、永続的な直接雇用契約を促進するというインダストリアル・グローバルユニオンの約束を全面的に支持する。
- エネルギー部門は、特に多国籍企業において世界・国家・地域レベルで、引き続きストップ不安定雇用のための行動に参加する。
- 不安定雇用は世界のエネルギー部門における大きな問題として確認されているため、不安定雇用の利用を可能な限り制限するとともに下記を実現するために、引き続き努力を払う。
  - サプライチェーン全体を通して不安定労働者（ブルーカラー、ホワイトカラー、男性および女性）を労働組合に組織化する。
  - 多国籍企業とのGFAや社会的対話をグローバル・レベルで利用し、不安定雇用の利用を制限するとともに、影響を受ける不安定労働者を組織化して権利を確保する。
  - 可能な限り不安定労働者を労働協約（CBA）条項の対象に含め、不安定労働者向けの包括的なCBAを取り決める。
  - 加盟組織が地域別・多国籍企業別ネットワークを通して、不安定労働者の問題に取り組んだ経験を交換する機会を設ける。
  - 不安定労働者を労働協約の対象に含めることを制限する条項を撤廃するか、少なくとも最小限に抑えるために努力する。
  - 共同組織化キャンペーンや不安定雇用に反対する共同キャンペーンを実施する。

#### 5. 持続可能な産業政策の創出：

- インダストリアル・グローバルユニオンのエネルギー部門は、この部門は潜在的に持続可能性が高いが、再生可能エネルギーへの移行にあたって起こる変化に焦点を当て続けなければならないことを認識している。
- この部門は、経済・産業・環境・人口動態・社会問題など各サブセクターの戦略的分析に基づき、仕事の未来にとっての主要課題として、新しい成長モデルを求めて引き続き闘う。

- 社会問題に行動の焦点を合わせるだけでなく、環境問題や経済問題も統合し、ステークホルダー・パネルを利用して労働者と地元住民のニーズや話題を取り上げる。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、全体的なプログラムの中で、デジタル化とインダストリー4.0がエネルギー産業やエネルギー部門労働者に与える影響について引き続き討議し、これらの変更を労働者と社会の全構成員にとって公正かつ正当な形で実施するよう求める私たちの要求の有効な答えを見つけ、一部の人々が他のすべての人々に損害を与えて資源や付加価値を占有しないようにする。
- インダストリアルと加盟組織は、エネルギー産業における持続可能な産業政策の促進によって、持続可能な産業関連雇用の保護・創出に取り組む。
- 公正な移行プログラムの一環として、多様化と持続可能な産業開発に向けた政策レベルの関与（例えば教育・訓練の機会、新規雇用への優先的採用、個人のニーズに合わせた代替策など）を導入する。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、気候変動に敏感な変化しつつある経済において、女性と若年者が直面する課題の十分な認識、世代間の連帯、技能の評価・移転など、持続可能性の社会的側面の重要性を引き続き主張する。
- エネルギー産業世界会議は、エネルギー労働者の持続可能な産業関連雇用の文脈で、労働者とその家族、地域社会の権利と生活水準を保護する公正な移行を要求するインダストリアル・グローバルユニオンの方針への支持を再確認し、来る国連気候変動枠組条約（UNFCCC）第24回締約国会議（COP24）において、この要求を強く打ち出す。
- インダストリアルは、優良事例の共有によって持続可能な産業開発に関する独自のビジョンを立案・実施する加盟組織の能力を強化する。
- インダストリアルは、新しい持続可能・再生可能エネルギー部門で労働者の組織化に努める。
- エネルギー部門は、相乗効果を求めて他の産業部門との共同作業を立案し、持続可能な産業政策を実施できるようにする。